

GIGAスクール構想のもとでの 小学校図画工作科の指導について

GIGAスクール構想のもとでの小学校図画工作科の指導において ICTを活用する際のポイント

図画工作科における学習指導要領とICT活用の関係

図画工作科の授業においては、表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することを目指している。そのため、感じたことや想像したことなどを造形的に表す表現や、作品などからそのよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める鑑賞の学習過程においてICTを活用することが考えられる。その際、資質・能力の育成と関連付けて活用するとともに、自分の体を通して様々な対象や事象を心に感じ取るなど感性や想像力を働かせる場面を大切にして活用すること、発達の段階や経験に応じて適切に活用することなどに留意する必要がある。また、実際にもものに触れたり見たりすることが、図画工作科の資質・能力の育成において重要であることも踏まえ、学習のねらいに応じて必要性を十分に検討し、活用することが大切である。

学習指導要領における記述

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

- (10) コンピュータ、カメラなどの情報機器を利用することについては、表現や鑑賞の活動で使う用具の一つとして扱うとともに、必要性を十分に検討して利用すること。



GIGAスクール構想のもとでの小学校図画工作科の指導において ICTを活用する際のポイント

小学校図画工作科におけるICTの効果的な活用例

感じたことや想像したことなどを造形的に表す場面

- ・材料や用具の扱いについて、写真や動画で確かめる。ICT端末を用いれば、繰り返し見たり、細部を拡大して見たりすることができる
- ・活動の過程や作品をICT端末のカメラ機能を使って撮影し、クラウドなどに保存して、振り返りの学習に活用する、撮影した画像や動画を大型モニターに映し出して発表する など

<造形遊びをする活動において>

- ・造形的な活動ができそうな候補の場所をICT端末で撮影し、グループで相談する際の資料とする
- ・自分たちの活動を撮影することで、更に新たな発想や構想をすることのきっかけにする

<絵や立体、工作に表す活動において>

- ・プログラミングの機能から表したいことを見付け、身の回りの材料を使って表し方を工夫して工作に表す
- ・形や色、コンピュータの特長、構成の美しさなどの感じを考えながら、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、動くもようをつくる ・もようをプロジェクターで場所に映し出す
- ・デジタルカメラやICT端末でコマ撮りした画像をコンピュータで編集し、アニメーションをつくる など



作品などからそのよさや美しさを感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める場面

- ・インターネットなどを用いて美術作品についての情報収集をする
- ・生活の中の造形をICT端末などで撮影し、話し合う際の資料とする
- ・活動の過程や作品をカメラ機能を使って撮影し、クラウドなどに保存して、自分の表し方の変化を振り返ったり、感じたことや考えたことを友人と共有したりする など